

2019年3月期第2四半期決算概況（参考資料）

2018年11月7日

ニチハ株式会社
（コード番号7943、東証・名証第一部）

1. 2019年3月期第2四半期業績

(1) 連結業績

（百万円未満切捨）

	2018年3月期 第2四半期 累計実績	2019年3月期 第2四半期 累計期初予想	2019年3月期 第2四半期 累計実績	前年同期比 増減		期初予想比 増減	
				金額	率 %	金額	率 %
売上高	56,854	58,200	56,570	△ 283	△ 0.5	△ 1,630	△ 2.8
営業利益	6,681	6,800	5,435	△ 1,245	△ 18.6	△ 1,365	△ 20.1
経常利益	6,841	6,900	5,720	△ 1,120	△ 16.4	△ 1,180	△ 17.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,006	5,100	4,202	△ 804	△ 16.1	△ 898	△ 17.5

（注）期初予想：本年5月9日発表の期初予想

(2) 連結業績の説明

① 市場環境等

当社グループ主力製品の窯業系外装材の国内主要マーケットである新設住宅着工戸数は貸家の減少傾向が続く、当第2四半期累計期間においては491千戸と前年同期比1.1%の減少となりましたが、当社グループ事業との関係が特に強い戸建て住宅に限っては同0.3%の増加となり、市場は回復傾向にあります。

一方で、同期間の窯業系外装材の業界全体の国内販売数量については、戸建て着工と数カ月のタイムラグがあるため、前年第4四半期以降の住宅着工減が影響したことに加えて、大雨・地震・台風等自然災害に伴う工事の遅れにより、前年同期に比し4.0%（JIS規格の改正に伴い2009年度よりJIS規格対象外となった12mm厚製品を含む従来基準）の減少となりました。

② 売上高

米国窯業系外装材事業が商流再編の過渡期における一時的な減収の影響がなくなり増収に転じたものの、主力の国内事業は業界全体の落ち込みによる販売数量の減少により減収となったことから、全体の売上高は565億70百万円と前年同期比2億83百万円（△0.5%）の微減収となりました。

③ 損益

国内外装材事業は減収に加え、前年同期に在庫水準を増産により回復させた反動やエネルギーコストアップなどにより減益となったうえ、米国窯業系外装材事業は増収となったものの、営業体制強化に伴う先行費用の発生などにより減益となったことから、営業利益は54億35百万円と前年同期比12億45百万円（△18.6%）の減益、経常利益も57億20百万円と同11億20百万円（△16.4%）の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、42億2百万円と同8億4百万円（△16.1%）の減益となりました。

④ 配当

中間配当金につきましては、本年5月9日発表の期初予想のとおり、前年同期から0.5円増配の1株あたり普通配当28円とさせていただきます。

2. 2019年3月期通期業績予想

(1) 連結業績

（百万円未満切捨）

	上期 実績			通期 予想		
	前年同期比		金額	前期比		金額
	金額	率 %		金額	率 %	
売上高	56,570	△ 283	△ 0.5	119,200	3,055	2.6
営業利益	5,435	△ 1,245	△ 18.6	13,300	67	0.5
経常利益	5,720	△ 1,120	△ 16.4	13,700	△ 96	△ 0.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,202	△ 804	△ 16.1	10,000	△ 1,151	△ 10.3
1株当たり 配当金	28円	0.5円	-	56円	△ 5円	-

（注）通期予想は、11月7日発表の修正予想。

(2) 連結業績予想の説明

2019年3月期の通期連結業績予想につきましては、本年5月9日に公表いたしました期初予想を修正しております。

主力の国内住宅市場につきましては、期初の見通しを据え置き、新設住宅着工戸数はほぼ前年並みの94万5千戸程度と見ております。

下期は、上期に発生した自然災害による工事の遅れが解消し、窯業系外装材業界全体の出荷増が見込まれること、加えて塗膜30年保証の高付加価値商品を武器にした更なる拡販によりシェアアップを見込むことなどを前提に予想を組み立てております。

これにより、売上高は1,192億円と前期比30億55百万円(2.6%)の増収を、営業利益は133億円(前期比67百万円、0.5%)、経常利益は137億円(同△96百万円、△0.7%)とそれぞれ前期並みを、親会社株主に帰属する当期純利益は100億円と前期比11億51百万円(△10.3%)の減益を予想しております。

(3) 配当

当期の期末配当予想につきましては、期初に予想した1株当たり28円から変更はありません。これにより、第2四半期末の中間配当金28円と合わせ、通期では合計56円の配当金を予想しております。

3. 決算関係データ

(1) セグメント別売上高の主要内訳

(百万円未満切捨)

セグメント区分	実績	上期		予想	通期	
		前年同期比			前期比	
		金額	率 %		金額	率 %
外装材事業	51,630	△ 211	△ 0.4	108,800	2,947	2.8
国内 (注1)	44,738	△ 1,037	△ 2.3	94,000	1,774	1.9
米国	6,892	825	13.6	14,800	1,172	8.6
(百万US\$)	(63.4)	(9.2)	(17.0)	(135.0)	(14.4)	(11.9)
その他(注2)	4,940	△ 72	△ 1.4	10,400	108	1.1
合計	56,570	△ 283	△ 0.5	119,200	3,055	2.6

(注)1. 国内外装材には、日本からの米国以外への輸出及び中国事業など、少額の海外売上を含む。

2. その他の内訳は、繊維板事業、工事事業、FP事業、その他事業。

3. 通期予想は、11月7日発表の修正予想。

(2) 市場環境

① 新設住宅着工戸数

(千戸、()内は前年同期比増減率%)

		上期			下期			年間計
		第1四半期	第2四半期	計	第3四半期	第4四半期	計	
新設住宅着工	2017年度	250 (1.1)	247 (△ 2.4)	497 (△ 0.7)	244 (△ 2.5)	205 (△ 8.2)	449 (△ 5.2)	946 (△ 2.8)
	2018年度	245 (△ 2.0)	246 (△ 0.2)	491 (△ 1.1)	-	-	-	-
うち一戸建	2017年度	110 (0.9)	110 (△ 4.0)	220 (△ 1.6)	112 (△ 0.9)	94 (△ 2.8)	206 (△ 1.8)	426 (△ 1.7)
	2018年度	109 (△ 0.6)	112 (1.1)	221 (0.3)	-	-	-	-

② 日本窯業外装材協会 窯業系外装材販売数量

(千坪、()内は前年同期比増減率%)

		上期			下期			年間計
		第1四半期	第2四半期	計	第3四半期	第4四半期	計	
業界全体	2017年度	8,034 (4.3)	8,206 (0.4)	16,240 (2.3)	8,587 (△ 0.7)	7,867 (△ 4.8)	16,454 (△ 2.7)	32,694 (△ 0.3)
	2018年度	7,851 (△ 2.3)	7,735 (△ 5.7)	15,586 (△ 4.0)	-	-	-	-
うち当社	2017年度	3,756 (△ 0.6)	3,817 (△ 3.8)	7,573 (△ 2.2)	4,021 (△ 1.6)	3,719 (△ 5.9)	7,740 (△ 3.7)	15,313 (△ 3.0)
	当社シェア	46.7%	46.5%	46.6%	46.8%	47.3%	47.0%	46.8%
2018年度	当社シェア	3,706 (△ 1.3)	3,717 (△ 2.6)	7,423 (△ 2.0)	-	-	-	-
	当社シェア	47.2%	48.1%	47.6%	-	-	-	-

(注)販売数量はJIS規格の改正に伴い2009年度よりJIS規格対象外となった12mm厚製品を含む従来基準